

# 令和6年度 ヒートポンプ技術部会技術交流・見学会「エスコンフィールドHOKKAIDO 北海道電力ESP事業」見学記

- 1.日 時：令和6年10月3日（木） 10:00～12:00
- 2.見学場所：エスコンフィールドHOKKAIDO（北海道電力ESP事業）
- 3.説明者：北海道電力株式会社 総合エネルギー事業部 ガス&ソリューショングループ 小森 昭 様、谷地 誠 様
- 4.出席者：21名（事務局3名含む）
- 5.概要

コロナ明け実地見学再開2年目となった今年度の技術交流・見学会は、日本冷凍空調学会様のご紹介により北海道のエスコンフィールドHOKKAIDO 北海道電力ESP事業見学を実施した。前日（2日）に札幌市内の貸会議室でヒートポンプ技術部会（産業用ヒートポンプ普及促進WG併催）を開催し、翌3日に見学会を実施。委員18名、事務局3名の計21名が参加した。同施設は北海道電力がESP事業者として受変電設備、ヒートポンプ、ボイラー、吸収式冷温水機、コジェネレーションシステムなどのエネルギー関連設備を設置し、「エネルギー調達」「設備運用」を一括で提供しており、普段は入ることができない機械室を見学させていただきながら、運用しているシステムについて北海道電力殿ご担当者にご説明いただいた。

エスコンフィールドHOKKAIDOは2023年より北海道日本ハムファイターズが本拠地としている最新のスタジアム。開閉式ドームであるにもかかわらずフィールドは天然芝で覆われており、良好な状態を維持するために芝の下に配置された配管に供給する冷温水の管理も北海道電力が担当。

今回は最新のESP設備を見学することができ、委員にたいへん好評であった。

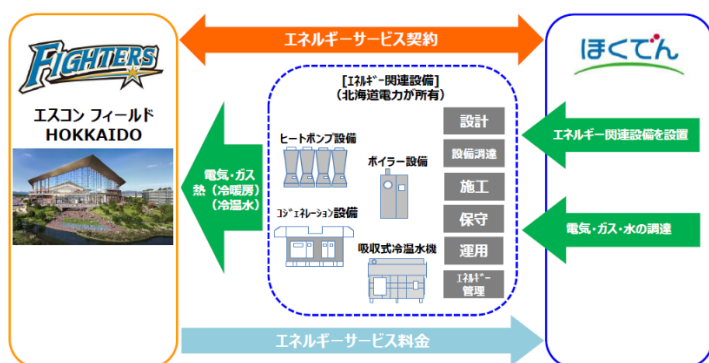


図1 ESP事業概要（引用元 北海道電力様WEBサイト）

写真1 現場見学前の説明風景



写真2 天井が開放されたスタジアム



写真3 見学先での集合写真

施設見学終了後、エクスカーションとしてスタジアムツアーに参加した。ファイターズガール原藤由衣さんの案内によりスタジアム内を見学。1回のドームの開閉にかかる費用は福岡の某スタジアムが約100万円なのに対して最新設備のエスコンフィールドHOKKAIDOは約3万円との説明に驚愕。また、高額な年間契約のVIPシート、ダッグアウトでの写真撮影、グラウンドウォークなど、普段はできない最新スタジアム体験に、こちらも参加者一同満足し、現地を後にした。